

(第三種郵便物認可)

31日

理の委託を受け、林業経営に適した森林を名簿に記載された事業者へ公募で再委託できる。
なお、1度目の募集では34者を登録している。
森林経営管理の実施権

みなかみ町は豚コレラの感染拡大を防ぐため、防護柵設置の補助制度を導入する方針を固めた。国と県が行う補助と連動して4分の1を追加で補助する。

正補市 門扉などへ補助支援
茨川市 豚コレラ対策390万円追加
茨川市は9月補正予算に緊急豚コレラ防疫対策や門扉の設置費用を補助する。
900万円を追加した。養豚農家を対象に金網柵の侵入を防ぐ目的。市内の養豚業者は27軒、農場数は33カ所。市では9月26日に県内で豚コレラが発生したことを想定して初動体制の確認や車両消毒の手順などの訓練を行っている。

19年度の安全衛生大会 無事故無災害誓う

山梅



山梅（山田通明代表取締役社長、太田市）は9月27日、マリエール太田
大沢取締役造園部長
山田社長



労働災害撲滅へ意識新た

で2019年度安全衛生大会を開いた。安全表彰や安全報告などを行い、労働災害撲滅へ意識を新たにした。
冒頭、あいさつに立った山田社長は「しっかりと安全のことを学んで社員の方一人一人に伝えて

ほしい。当社は、お台場海浜公園の改修や八ッ場ダムでの公園整備などニュースになるような現場を受注させて頂いている。注目を集める分、安全には徹底してこだわっていく」と話した。
同社の総括安全衛生管理者を務める大沢将士取

締役造園部長は「地球温暖化の流れの中で、これまでと違った熱中症対策をとらなければならぬ。年々進化する対策グッズを早い段階で取り入れるなどし、夏期の健康維持や労働生産性の向上に繋げたい」と述べた。
優良協会社表彰は、お台場海浜公園の現場で熱中症の観光客を救護した秋川電工が受賞。
安全報告は、安全衛生委員会の杉村泰氏が熱中症や夏に活動が活発化するハチの対策法を紹介した。また、管理課の仁平和希氏がクビアカツヤカミキリについて解説。勝沼水辺公園整備工事を管理技術者の小川雄一氏と現場代理人の堀金哲也氏が説明を行った。
最後は参加者全員でゼ口災コールを唱和。無事故無災害に向け、一致団結した。

広場の整備工事
11月までに公告
太田市
太田市は飯塚町地内で広場の整備工事を計画しており、11月までに一般競争入札を公告する。9月補正予算に工事費700万円を計上した。整備地は市民会館（飯

豚コレラ対策で補助制度を検討
板倉町
板倉町は豚コレラ対策で防護柵設置への補助制度導入を検討している。財源は補助率および、必要額の確定後、専決処分や12月補正などで確保したい考え。
県の協力要請に基づき検討を開始。補助対象はウイルスを持つ、イノシシや小動物の侵入を防ぐ柵の購入費、設置工事費となる見通し。
現在、町内にある養豚農場は2カ所となっている。

国と県が行う補助と連動して4分の1を追加で補助するもので上限事業費は農場周辺に設置する金網柵などが1mあたり2

塚町2001-1)の南側で面積約7559㎡。同施設への来館者や周辺住民が憩える場を創出する。芝生を張るほか、東と西側の敷地境界部に低木を植栽。合わせて照明を設ける。樹種や植栽本数など詳細については直営で進めている設計業務の中で決める。

500円、農場の出入口などに設置する門扉が1mあたり1万円となる。金網柵や門扉を設置することでイノシシや小動物の侵入を防ぐ目的。市内の養豚業者は27軒、農場数は33カ所。市では9月26日に県内で豚コレラが発生したことを想定して初動体制の確認や車両消毒の手順などの訓練を行っている。



国土交通省住宅局の眞鍋純局長は新しい情報、新しい考えをどんどん取り入れて、過去にこだわることなく政策を検討・立案・実行していきたく、5月に公布

国交省 改正法
眞鍋
増子秀典会長は「適正な利益を確保することは若い人たちが見た建設事業計画に地域の安全・地域建設業の

会貢献活動の発信と推進④災害対応に関する取り組み⑤第24回国連設青年会議全国大会への参画①の活動方針を掲げた19年度事業計画と18年度事業報告が行われ、承認された。
事業計画に「適正な利益を確保することは若い人たちが見た建設事業計画に地域の安全・地域建設業の